

平成 19 年度

施設評価調書

施設の名称.....稲 生 沢 学校給食
共同調理場

所管担当課.....下田市教育委員会
学 校 教 育 課

平成 19 年 11 月

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立稲生沢学校給食共同調理場	番号	97
--------	----------	------------------	----	----

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市立稲生沢学校給食共同調理場		2 担当課 担当係	学校教育課 学校教育係	
3 所在地	下田市立野 147 番地		4 設置年月	昭和 52 年 12 月 1 日	
5 総合計画の 位置付け	人材づくり		未来の人づくり		学校教育
	施策体系		教育施設の整備		教育施設・設備の充実
	主要事業		学校給食管理運営事業		学校給食管理運営事業
6 設置目的					
7 設置根拠	下田市立学校給食共同調理場設置条例				
8 施設の概要	施設の概要		昭和 52 年 11 月 30 日竣工		
			敷地面積 m ² 建築面積 284 m ² 鉄骨一部二階建		
			平成元年 1,200 食 平成 8 年 910 食 (O157 の関係にて)		
	実施事業 の概要		稲梓幼稚園 34 食	稲梓小学校 108 食	稲梓中学校 63 食
			稲生沢幼稚園 20 食	稲生沢小学校 256 食	稲生沢中学校 144 食
			幼稚園計 54 食	小学校計 364 食	中学校計 207 食
			合計 625 食		
料金体系		料金区分	給食費(給食費会計)		
			幼稚園	月額	3,800 円
		小学校	月額	3,900 円	
		中学校	月額	4,700 円	
		主な料金			
		減免内容			
		利用料金制度	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
施設運営 方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営			
		指定管理者制度		指定管理者	
		一部委託		委託内容	
直接従事職員		下田市職員数 4 人 臨時 2 人 委託団体職員数			
9 市内の 類似施設	下田市所有	共同調理場(浜崎・稲生沢)2 箇所 単独調理場(朝日・下田)2 箇所			
	民間所有				

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立稲生沢学校給食共同調理場	番号	97
--------	----------	------------------	----	----

10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳		平成18年度末残高 単位:円		(備考) 減価償却の方法 ・ 定額法 ・ 残存価格1円 ・ 翌年度から償却 ・ 耐用年数 34年 (s52.11~h23.10)	
	土地取得費		土地残高			
	建物取得費	29,289,000円	建物減価償却後残高	4,307,182円		
	財源内訳		年間償却資産額			
	国・県支出金		29,289,000円 ÷ 34年 = 861,442円/年			
	市債		市債残高	0円		
	一般財源 寄附金等					
物品(*万円以上)		物品減価償却後残高				
11 年間経費等推移 (単位:円)	区 分		H16年度決算	H17年度決算	H18年度決算	H19年度予算
	収入					
	収入合計					
	支 出	2節 給料	54,818,400	51,848,400	13,321,800	13,503,000
		3節 職員手当等	23,296,925	21,565,875	5,877,928	5,898,000
		4節 共済費	10,697,527	10,312,948	2,933,955	3,057,000
		7節 賃金	10,228,600	11,820,550	3,750,550	0
		9節 旅費	66,400	37,740	0	0
		11節 需用費	11,611,834	11,015,763	3,835,655	3,553,500
		12節 役務費	921,268	989,509	271,741	288,000
		13節 委託料	81,300	81,300	25,935	26,000
		14節 使用料及び賃借料	29,820	29,820	14,910	15,000
		18節 備品購入費	693,000		0	
		19節 負担金補助及び交付金	75,000	75,000	24,500	28,000
	27節 公課費	63,000	71,800	31,500	32,000	
	支出合計		112,583,074	107,948,705	30,088,474	26,400,500
	支出欄の額		h16・h17については全調理場分の集計額。 h18以降は、稲生沢共同調理場分が掲載されています。			
	減価償却費		861,442円	861,442円	861,442円	861,442円
	市債利子					
	下田市負担年間総経費				108,391,000円	842,264,000円
備 考		人件費は、実額を算出記載(正職員・嘱託職員等の人件費総額)				
12 施設利用状況等の推移	利用状況	年 度	H16.5.1	H17.5.1	H18.5.1	H19.5.1
		対象人員 合計	651人	625人	625人	625人
		小学校	389人	379人	379人	364人
		中学校	221人	202人	193人	207人
		幼稚園	43人	44人	53人	54人
	参考:利用単位当たり市負担額	算出方法:11欄の「下田市負担年間総額」÷利用者数				
	関係職員	栄養士(県費職員)	1人	1人	1人	1人
		調理員(職員)	4人	4人	4人	4人
調理員(パート職員)		3人	3人	3人	2人	
休日	祝祭日・土日、夏季・冬季・春季					
13 利用者満足度調査	実施の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		調査結果		
	直近の実施時期	平成18年9月				
	調査手法	保護者 給食審議会試食の実施				
	調査数					

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立稲生沢学校給食共同調理場	番号	97
--------	----------	------------------	----	----

業績評価

1 目標達成度

目標達成度	区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度 予算
	利用者数の目標値	人				
	" の実績	人				
	目標達成度	%				
選択した指標	成果指標					
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の代替指標					
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由					
指標設定の考え方	区分	指標名	指標の考え方			
	成果指標					
	代替指標					

(参考)

活動指標(施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標)

活動指標		区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
活動指標	目標指標	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指標の考え方						
活動指標	目標指標	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指標の考え方						
活動指標	目標指標	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指標の考え方						

平成19年度

施設名(愛称名) 下田市立稲生沢学校給食共同調理場

番号 97

2 効率性

効率性	区分	説明	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
	施設の総利用者数等		人				
	年間経費	施設の事業費・運営費および人件費の合計額	円				
	利用単位当たり経費	÷	円/人				
総利用者数等の考え方 施設の総利用総数等について用いた指標について記載してください。			備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。				

その他の指標		区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
目標指数	目標指数の考え方	目標値					
		実績値					
		達成度					
目標指数	目標指数の考え方	目標値					
		実績値					
		達成度					
目標指数	目標指数の考え方	目標値					
		実績値					
		達成度					

受益者負担の適正性	区分	説明	単位	H16年度	H17年度	H18年度
	有料部分の年間経費	使用料等を徴収する部分の年間経費	円			
	受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額	円			
	受益者負担比率	÷	%			
	補正受益者負担額	減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額	円			
	補正受益者負担比率	÷	%			

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立稲生沢学校給食共同調理場	番号	97
--------	----------	------------------	----	----

施設の現状分析

判断視点		判断視点項目	施設の状況
施設方向性の判断視点	施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	調理場の衛生面について非汚染面等の区別がなされておらず、早急に整備が必要
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	幼児期からの食教育、望ましい生活習慣を養うことに寄与している。
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めていけるか	災害時の備蓄等地域のための対応も必要である。
	施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画はどのようなものか	給食室の統合等を考えると、大きな修繕は未定で現状維持となっている。
		施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	
	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	
		民間においても十分可能な施設なのか	民間でも対応は可能だが現状のままでは難しい。
	使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどうか	
		同種施設との比較、近隣施設との比較はどうか	ドライシステムが主流のなかウエットシステムの運営をしている。
		計画上の利用者数と実際の利用者数の違いがどうなっているのか	
施設の耐用年数は何年有るのか			
施設の今後の維持経費の算定はどうか			
行政規模からの判断視点	施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	委託にする事で人件費が削減されるため経費の削減になると思われる。
		現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	職員の勤務時間等の見直しを図ることが必要である。
	地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	
	施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか	平成19年3月31日、白浜調理場から浜崎共同調理場への統廃合を実施し現状これ以上の受け入れには施設の整備が必要
		老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか	
		地域、民間に譲渡できないのか	委託は可能であるが現施設では
		施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	
その他			

平成19年度	施設名（愛称名）	下田市立稲生沢学校給食共同調理場	番号	97
--------	----------	------------------	----	----

見直しの方策

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	統廃合による経費削減
	受益者負担の妥当性	給食にかかる経費で保護者負担は食材費のみであるが、今後は食材費以外にも（消耗品等の経費）経費についても含んでいくのか検討が必要である。
	実施主体の妥当性	
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	委託については配送等から段階的に実施して行くことが望ましい。
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	
	執行方法の見直しなどの効率化のための目標及び方策	
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	
アンケート調査等	市民アンケート調査等の結果	
	サービスの迅速性や利便性など	
サービス面等	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	

平成18年度事業内容及び見直し事項

事業内容	
見直し事項	

平成19年度

施設名(愛称名) 下田市立稲生沢学校給食共同調理場

番号 97

施設懸案事項

No.	懸案事項	改善経費	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

今後の方向性

今後の方向性	充実	(具体的な内容)
	<input type="checkbox"/> 効率化等による見直し <input type="checkbox"/> 現状のまま継続等 <input type="checkbox"/> 縮小等による見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合を進める	